

第1学年 国語科学習指導案

1 単元名 こえにだしてよもう「くじらぐも」

2 指導観

- 本教材は、学校、体育の授業、運動場という身近な場の設定で、青空にくじらぐもが現れるという子どもたちがわくわくするような話の内容になっている。しかも同じ1年生ということで、読者である子どもたちも登場人物に同化しながら想像の世界で遊び、子どもたちとくじらぐもが、仲良くなっていく楽しさを味わいながら読み進めていくことができる。

物語は、5つの場面から構成されている。くじらぐもと子どもたちの会話文が多く、空の冒険という豊かに想像しながら読める場面もあり、子どもたちが楽しく読み進めることができる。くじらぐもの行動を中心とした場面の様子が、見開きで描かれた挿し絵と対応し、理解しやすい構成になっている。会話文や繰り返しの言葉に着目し、事柄の順序を考えながら、場面の様子や気持ちを想像を広げながら読み取る力を育てるのに適した教材である。

- 本学級の子どもたちは、これまでに「はなのみち」、「おむすびころりん」、「大きなかぶ」の学習をしてきている。「大きなかぶ」では、動作化や役割演技、対話を取り入れて、おじいさんの様子や気持ちについて読み、物語の楽しさを味わって学習することができている。発表したいという意欲は高く、進んで自分の考えを発表する子も増えてきているが、自分の考えに自信がなかったり、どう発表したらいいのかわからなかったりするため、表現できない子も見られる。話している人の方を見て話を聞いたり、うなずきながら話を聞いたりすることについては高まってきているが、友だちの発表や教師の話が長くなると、最後まで聞くことが難しい面も見られる。

また、これまでの物語の学習で、挿し絵を中心に、叙述とつなぎながら内容の大体を読み取ることを経験してきている。「大きなかぶ」の学習では、動作化や対話を通して、おじいさんの様子や気持ちについて自分の考えを持ち、言葉にしたり、吹き出しに書いたりすることができるようになってきた。しかし、叙述をもとに場面の様子を動作化したり音読したりして、登場人物の気持ちを想像を広げて読むことについては、まだ十分とは言えない。叙述を意識せずに想像を広げてしまったり、内容の理解が不十分のために表現できなかったりする面が見られ、個人差が大きいと言える。

- 指導にあたっては、まずこれまでの経験から雲についてのイメージを膨らませ、題名「くじらぐも」について関心を高めるとともに、冒頭の「あらわれました」に着目させ、題名と冒頭から読み通しのめあてを作るようにする。

次に、全文を読み、挿し絵をもとにあらすじをつかみ、読み通しのめあての答えをまとめるようにする。そして各場面のくじらぐもの様子やしたことへの疑問を出し合い、読み確かめる学習計画を立てるようにする。その際、学習計画を各場面に位置付けるためにそれぞれのくじらぐもに名前をつけるようにする。

読み確かめでは、場面ごとに学習計画をもとにしてくじらぐもがしたことを確かめ、会話文やくり返しの言葉に立ち止まり、音読や動作化をして様子を明らかにする。くじらぐもになりきって音読や動作化をし、くじらぐもの様子を伝えあったり、対話や全体での伝え合いをしてくじらぐもの気持ちを話し合ったりして、楽しく学習を進めていく中で、自分の考えをもつことができるようにする。さらに、めあてについて確かになった読みを、板書をもとにお家の人へ伝えるという相手意識をもたせて書きまとめる。そしてくじらぐもが子どもたちと仲良くなっていく様子をハート型のカードの大きさを表し、視覚的に確かめられるようにする。

最後に、読みのまとめでは、読み確かめてきた内容をまとめ、くじらぐもにお手紙を書く。また、読み方についても振り返る。

3 単元の目標

- くじらぐもや子どもたちの様子を進んで考え、楽しく声に出して読むことができる。
(関心・意欲・態度)
- 挿絵と叙述をつなぎ、音読や動作化をしたり、対話をしたりしながら、くじらぐもの様子や気持ちについて話し合うことができる。
(コミュニケーション能力)
- くじらぐもが子どもたちと交流する様子や気持ちを、会話文や行動を表す言葉に着目して、想像を広げながら読むことができる。
(読む能力)
- 子どもたちとくじらぐもの心が通じ合い、仲良くなっていく物語の楽しさを味わうことができる。
(内容的価値)

4 指導計画(11 時間)

段階	配時	学習活動と内容	教師の支援
つかむ	5	<p>1 題名と冒頭から読み通しのめあてを作る。</p> <p>① (1) 題名「くじらぐも」について話し合う。</p> <p>(2) 冒頭を音読し、挿し絵と叙述からくじらぐもの様子を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ くじらぐもの様子やしたこと ○ 冒頭から、物語の設定の確認(いつ、どこで、誰が、どうした) <p>(3) 題名と冒頭から読み通しのめあてをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空に現れたくじらぐもについて <ul style="list-style-type: none"> ・現れ方 ・これからしたいこと ○ くじらぐものことでこれから調べたいこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(読み通しのめあて) くものくじらは、なにをしにあらわれたの だろう。</p> </div> <p>② 2 全文を読んであらすじをつかみ、読み通しのめあてのこたえを書く。</p> <p>(1) 全文を音読し、くじらぐもがしたことに線を引く。</p> <p>(2) 挿し絵を順に並べて、それぞれの場面でくじらぐもがしていることを話す。</p> <p>(3) 読み通しのめあてのこたえを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 挿し絵とつないでくじらぐものしたことの書きまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの体操のまねをしている。 ・空へ誘っている。 ・子どもたちを応援している。 ・みんなといっしょに空を泳いでいる。 ・さよならをしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(読み通しのめあてのこたえの方向) 空にあらわれたくじらぐもは、 ○はじめにね、たいそうをはじめて、みんなのまねをしたよ。 ○つぎにね、「おうい。」とこたえて、「ここへおいでよう。」とさそったよ。 ○そしてね、「もっと、たかく。もっと、たかく。」と二かいもおうえんしたよ。 ○それからね、あおいあおい空のなかを、げんきいっぱいすすんでいったよ。 ○さいごにね、あおい空のなかにかえっていったよ。</p> </div> <p>③ 3 読み通しのめあてのこたえを全体でまとめ、各場面のくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる学習計画を立てる。</p> <p>(1) 読み通しのめあてのこたえを話し合い、友達の考えと比べ、見直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 雲についてのイメージを膨らませるために、これまでの経験を想起させる。 ○ くじらぐもの様子を考えさせるために、ペープサートを使って「あらわれました」と「きました」を比べるようにする。 ○ 1年2組の子どもたちになって体操の動作化を行い、空に現れたくじらぐもについて友達と対話をし、自分の考えを全体で伝え合う。読み通しのめあてにつなぐために、くじらぐもにたずねたいことを話し合う。 ○ くじらぐもがしたことがわかるように、「くじらも」「くじらは」「くじらが」という言葉に着目させ、全文に線を引くようにする。 ○ お話の大体を話すことができるように、5枚の挿し絵の話をしながらか、並び替えさせる。さらに、挿し絵を使って、友達にお話の大体を話すことができるようにする。 ○ 挿し絵と叙述をつないで、読み通しのめあてのこたえが書けるように、5枚の挿し絵の下に、くじらぐもがしたことが書けるような読み取りノートを準備する。 ○ 考えの違いがわかるよに、指名をして発表させ、考えの違いを比べるようにする。

<p>／ 5 た し か め る</p>	<p>(2) くじらぐもが現れたわけについて話し合い、読み確かめる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 詳しく読むところ ・子どもたちのまねをするくじらぐもの様子や気持ち ・子どもたちを誘うくじらぐもの様子や気持ち ・子どもたちを応援するくじらぐもの様子や気持ち ・子どもたちと空を泳ぐくじらぐもの様子や気持ち ・子どもたちとさようならをするくじらぐもの様子や気持ち <p>4 学習計画をもとに読み確かめる。</p> <p>① (1) 体操のまねをするくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時場面の音読とくじらぐもがしたこと ○ 体操している子どもたちのまねをするくじらの様子や気持ち ・子どもたちがするのをよく見て、同じようにする様子 ・いっしょに遊びたい、気がついてほしい気持ち ○ 読み確かめたことの書きまとめ <p>① 本時 (2) 子どもたちを空へ誘うくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時場面の音読とくじらぐもがしたこと ○ 空に誘うくじらぐもの様子や気持ち ・「よびました」と「こたえました」の違い ・「ここ」の場所の違い ・空でいっしょに遊びたい気持ち ○ 読み確かめたことの書きまとめ <p>① (3) 子どもたちを応援するくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時場面の音読とくじらぐもがしたこと ○ みんなを応援するくじらぐもの様子や気持ち ・応援しているときの声の大きさや表情や動き ・あきらめないで跳んで、早く空に来てほしい気持ち ○ 読み確かめたことの書きまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合った後、くじらぐもがなにをしにきたかを問い返し、どんな風になかよくなっていくのかを読み確かめていこうという意欲をもたせるようにする。 ○ 学習計画を各場面に位置付けるためにそれぞれのくじらぐもに名前をつける。 <ul style="list-style-type: none"> ②まねっこくじら ③おさそいくじら ④おうえんくじら ⑤およぎくじら ⑥さようならくじら ○ 読み確かめるための学習計画を立てることができるように、教師が問い返しをしながら、子どもたちに疑問を出させていくようにする。出された疑問は、「はてなカード」として場面に位置づける。 ○ くじらぐもが子どもたちのまねをしていることに気付くことができるように、音読や動作化をさせたり、助詞「も」に着目させたりする。 ○ くじらぐもの気持ちを考えるために、くじらぐもがまねをするわけを友達と対話をして書き、自分の考えを全体で伝え合うようにする。 ○ くじらぐもと子どもたちがどれくらい仲良くなったかをハート型のカードを使って表し、場面ごとに比べていくようにする。 ○ まねばかりしていたくじらぐもの変化に気付くことができるように、くじらぐもと子どもたちに分かれて音読や動作化をするようにする。 ○ くじらぐもの気持ちを考えるために、くじらぐもが空に誘うわけを友達と対話をして書き、自分の考えを全体で伝え合うようにする。 ○ 書きまとめがしやすいように、読み確かめたくじらぐもの様子や気持ちを色分けして板書する。 ○ くじらぐもの気持ちの高まりを読み確かめることができるように、助詞「が」や繰り返しの言葉に着目させ、音読や動作化をさせる。 ○ くじらぐもの気持ちを考えるために、くじらぐもが応援するわけを友達と対話をして書き、自分の考えを全体で伝え合うようにする。 ○ 読み確かめたくじらぐもの様子や気持ちを色分けして板書する。

／ ま と め る	<p>① (4) 子どもたちを乗せて、空を泳ぐくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時場面の音読とくじらぐもがしたこと ○ 子どもたちを乗せて空を泳ぐくじらぐもの様子や気持ち ・ はりきって空を泳ぐくじらぐもの様子 ・ 空から見える景色 ・ 空で子どもたちと遊んで喜んでいるくじらぐもの気持ち ○ 読み確かめたことの書きまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ くじらぐもの様子がわかるように、「くじらは」の「は」に着目させる。 ○ 場面を豊かに想像しながら読ませるために、挿し絵と「うみのほうへ、むらのほうへ、まちのほうへ」という叙述を結びつけ発表させる。 ○ くじらぐもが空の中を元気いっぱい進んでいる様子をふくらませるために、「あおいあおい」や「どこまでもどこまでも」の叙述とつなぐようにする。
	<p>① (5) ジャングルジムにみんなを降ろして帰っていくくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時場面の音読とくじらぐもがしたこと ○ 「さようなら」をする子どもたちの様子や気持ち ○ 空へ帰っていったくじらぐもの様子や気持ち ・ 「さようなら」をするくじらぐもの表情や動き ・ だんだんと心が通じ合い、友達になって喜んでいる気持ち ○ 読み確かめたことの書きまとめ <p>1 5 読み確かめてきたことをもとに読みのまとめをする。</p> <p>(1) これまでの詳しくなった読みを振り返る。</p> <p>(2) 使った読み方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 助詞「も」「が」「は」 ○ 繰り返しの言葉や会話文 ○ 言葉を比べて読む。 <p>(3) くじらぐもに手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ くじらぐもも子どもたちも楽しい時間を一緒に過ごし、満足していることがとらえられるように、挿し絵と叙述から、登場人物の様子や表情に注目させる。 ○ くじらぐもと子どもたちがだんだん仲良くなってきたことを、前時までの学習の挿し絵をもとに振り返るようにする。 ○ くじらぐもの気持ちを考えさせるために、くじらぐもが元気よく帰っていくわけを友達と対話をして書き、自分の考えを全体で伝え合うようにする。 ○ お家の人へ詳しく読み確かめたことを伝えるために、掲示物や読み取りノートをもとに振り返るようにする。 ○ 使った読み方はこれからも使えるように掲示していく。 ○ 読み確かめたことをもとに、自分の考えをくじらぐもへの手紙に書きまとめるようにする。

5 本時

平成 22 年 10 月 18 日(月曜日) 5 校時

6 本時の目標

- くじらぐもが子どもたちを大きな声で一生懸命誘う様子や、空に来てほしいという気持ちを、想像を広げながら読み確かめることができる。

7 本時指導の考え方

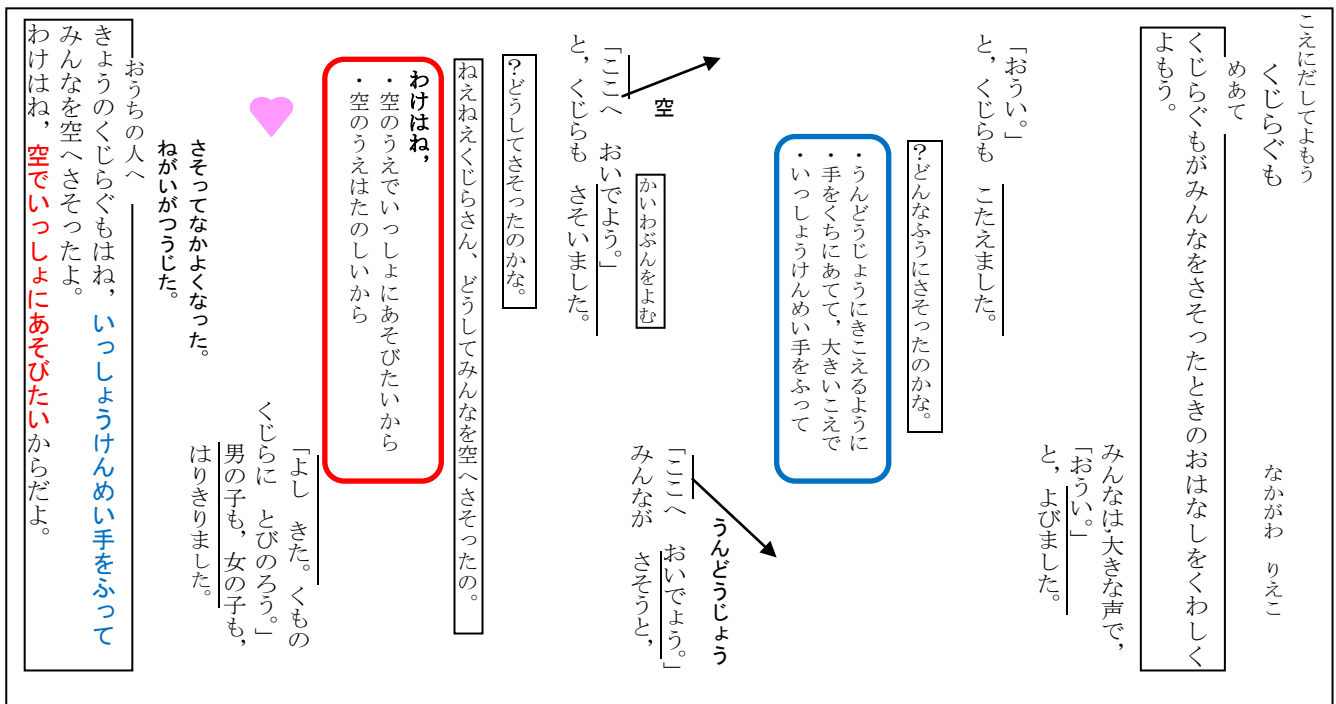
前時までに子どもたちは、1年2組の子どもたちのまねをして体操するくじらぐもの様子や気持ちを、叙述や挿絵をもとに読み確かめてきている。

本時は、読み確かめの2時間目で、今までまねばかりしていたくじらぐものが、子どもたちの呼びかけに応え、子どもたちを空へ誘う場面である。運動場にいる子どもたちに応えたり、誘ったりするくじらぐもの様子や気持ちを、想像を広げながら読み確かめることが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、本時のめあてを確認し、挿し絵について話し合い、本時場面を音読する。そして、くじらぐものがしたことを視写して、どんなことをしたのかをおさえる。
- 次に、まねばかりしていたくじらぐものが、本時場面では子どもたちと呼応したり、交流したりしようとする様子が見られるようになったことに気づかせるために、くじらぐもと子どもたちに分かれて音読する。そして、くじらぐもになって動作化をし、「ここ」の場所の違いを明らかにして、「ここへおいでよう。」と遠くの運動場に聞こえるように誘っている様子を想像できるようにする。
- さらに、くじらぐもがどのような気持ちで子どもたちを空に誘ったのかを考えるために、くじらぐもになりきって、空へ誘ったわけを友だちと対話をして書く。そして、自分の考えを全体で伝え合い、子どもたちと空でいっしょに遊びたいというくじらぐもの気持ちに気づかせていきたい。その後、くじらぐもの気持ちが子どもたちに通じたことを、叙述とつないで読み確かめる。
- 学習のまとめでは、まずハート型のカードを用いて、くじらぐもの気持ちが子どもたちに通じ、前時よりももっと子どもたちと仲良くなれたことを、視覚的にとらえさせるようにする。次に、板書をもとに読み確かめたことを振り返る。また、会話文を読むという読み方を使って、くじらぐもの様子や気持ちがくわしくなったことを確かめる。その後、書き出しを与え、お家の人へ伝えるという相手意識をもたせて書きまとめるようにする。

8 板書計画



9 本時の展開

配時	学習活動と内容	教師の支援
3分	<p>1 前時学習を振り返り、本時学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">くじらぐもがみんなをさそったときのおはなしをくわしくよもう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の「おうちの人へ」を読み、前時の場面を想起する。 ○ 学習計画表の子どもたちの「はてなカード」を板書に位置づけ、めあてにつなぐ。
30分	<p>2 子どもたちを空へ誘うくじらぐもの様子や気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) 挿し絵から本時場面の様子について話し合い、音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの様子 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆびをさしながら、見ている。 ・手を口にあててよんでいる。 ○くじらぐもの様子 <ul style="list-style-type: none"> ・ほっぺたがあかい。 ・わらっている。 <p>(2)くじらぐもがしたことが分かる語句を視写して、確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(くじら)もこたえました。 ○(くじら)もさそいました。 <p>(3) くじらぐもがどんな様子で誘ったのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動場に聞こえるように ○手に口を当てて大きな声で ○一生懸命に手をふって <p>(4) くじらぐもが、「ここへおいでよう。」と誘ったわけについて、友達と対話をして書き、全体で伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空で一緒に遊びたいから。 ○空の上は楽しいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちとくじらぐもの位置関係を視覚的に捉えやすくするために板書を工夫する。 ○ はっきりとした発音をするために、姿勢、口形に注意するよう声かけをする。 ○ くじらぐもの様子や気持ちを考えさせるために、教師が子どもたちになり、子どもたちはお面をかぶってくじらぐもになり、動作化をするようにする。 ○ くじらぐもが、まねではなく子どもたちの呼びかけに応じたことをとらえさせるために、「ここ」という言葉に着目させるようにする。 ○ くじらぐもの空に誘った気持ちを考えさせるために、友だちに尋ねたり、うなずいて聞いたりしながら対話ができるように声をかける。 ○ 子どもたちの考えを受けとめ、問い返しをしながら、考えを高めていくようにする。 ○ 誘ったわけについて全体で伝え合った後、くじらぐもの気持ちが子どもたちに伝わったことをとらえさせるために、子どもたちの言葉や様子の叙述を音読して、確かめるようにする。
12分	<p>3 本時学習をまとめる。</p> <p>(1) ハート型のカードを用い、子どもたちとより仲良くなれたことを確かめる。</p> <p>(2) 本時の読み確かめたことと読み方を振り返り、読み確かめたこととお家の人への手紙として書きまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ くじらぐもの空に来てほしい気持ちが子どもたちに伝わり、前時よりもさらに仲良くなれたことを確認するために、ハート型のカードを使って視覚的にとらえるようにする。 ○ 読み方をまとめるために、会話文を読む読み方を振り返るようにする。 ○ 書きまとめがしやすいように、色分けした板書をもとに、くじらぐもの様子と気持ちを書くように助言する。